

収支報告

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
寄付金 (賛助会員費含む)	2,187万円	2,480万円	2,393万円
経常費用内訳	管理費 35%(747万) 2,112万円 事業費 65%(1,365万)	管理費 32%(738万) 2,278万円 事業費 68%(1,540万)	管理費 33%(836万) 2,501万円 事業費 67%(1,665万)
事業費内訳	マネークリップ 3%(41万) 1,365万円 実家便 97%(1,324万)	マネークリップ 8%(118万) 1,540万円 実家便 92%(1,422万)	マネークリップ 3%(53万) 1,664万円 実家便 97%(1,611万)

ご協賛・寄付のお願い

当財団は、皆様からの寄付金を財源として運営しています。
当財団の活動へのご理解と、ご支援・ご協力をお願いいたします。

直接のご寄付	賛助会員として支える	協力団体を通じて寄付
		
	年会費は、 個人1口 ¥10,000 法人1口 ¥50,000です。	様々な協力団体を通じ、ご寄付を募っています。 右記のQRコードより最新の情報をご確認ください。

財団概要/役員

名称：公益財団法人あいである	代表理事 木皿 昌司	評議員 飯塚 良成
所在地：〒105-0004 東京都港区新橋1丁目18番16号 日本生命新橋ビル3階	理事 笠作 真一郎	太田 一平
	中村 安志	安岡 利朗
	三浦 保	若杉 千秋
T E L：03-6435-0444	吉田 倅子	諮問委員 坂本 博之
E-mail：info@idealideal.org	吉田 義夫	柴山 英士
設立登記：2015年4月1日	渡辺 修三	高橋 朝子
公益認定：2017年4月1日	監事 相楽 行孝	村井 美紀
		山田 勝美



公益財団法人あいであるは、

「保護者がいない、保護者のもとで暮らすことが適当でないとされた子ども」の健全育成支援を行う財団法人です。事業として、社会的養護出身者の退所後の支援「実家便™」、社会的養護児童の自立支援「お金の管理に関するレクチャー」を行っています。



あいである
Annual Report 2026

ご挨拶 ～2025年度の支援事業 活動報告に寄せて～

日頃より当財団の支援事業にご理解とご賛同を賜り、厚く御礼申し上げます。
2025年度において実家便は、新規230名、継続571名、合計801名への支援を行いました。継続支援者の前回からの継続率は94.5%。事業開始からの支援人数は2036名、利用施設数は153ヶ所(今までに実家便を利用したことのあるすべての施設数。2026年7月現在)となり、全児童養護施設数(610ヶ所)のうち、25%の施設で活用されています。この支援は、児童養護施設による施設退所者に向けたアフターケア事業を充実させる目的で活用されており、住所確認などのために施設退所者と定期的に連絡を取る機会が持て、生活状況の確認、支援ニーズの把握、必要なサポートにつなげるなど、支援を届けられている中では事業目的を十分に果たせていると考えています。支援を受け取る退所者からは、「食料品がたくさん届いて嬉しい。お菓子が嬉しかった」「すぐに食べられるレトルト食品とお米は有難い」「生活が苦しかったから助かった」「防災用品は必要だと思うけど、自分ではどうすれば良いかわからなかった」「食料品はもちろん嬉しいけれど、職員からの手紙も嬉しかった」「防災意識を持つきっかけになった」などの言葉が職員を通して報告されています。5年に亘る継続支援がある実家便によって、施設職員から退所者に継続的にコンタクトする機会があり、それによって退所者がどうして良いかわからないことが発生した場面で躊躇せずに施設に連絡、相談することができる、実家便の受け渡しを理由に家庭訪問や支援者が施設に来てくれるなど、施設職員からは良い関係作りにつながっているとの報告もあります。施設職員が退所者からの反応を得られることで、施設職員自身にも自己肯定感が生まれているように報告書の文面を通して感じています。
気持ちの波は誰にでもあることですが、実家便に入っている「あなたのことを気にしています」というメッセージが込められた職員からの手紙が退所者を支える一助となっており、困ったときに自分から相談するという、社会で生活することの基本が少しずつ身についている例もあるように思います。施設と退所者をつなぐ架け橋として、継続

して支援を実施し、支援事業の意義、その効果を伝えて参ります。
お金の管理に関するレクチャー「マネークリップ」は、新規3か所、継続2か所の施設を訪問しレクチャーを行いました。退所後の生活で家計費管理が上手くできない、お金にまつわるトラブルに巻き込まれやすい、退所後の生活の後盾として施設入所時に貯蓄してあった子ども手当を深い考え無しに使ってしまうなど、施設で生活しているあいだに職員から子どもに伝えたいことに「お金は大切」という大きなテーマがあります。それに応えるためのひとつとしてお金の管理に関するレクチャーを活用していただいています。施設を退所した後のお金の管理や生活設計、コミュニケーションの仕方を体験できるゲームで、まずは子どもの養育に当たる施設職員にゲームを体験してもらい、そこから得られたことをもとに職員が子どもと一緒にゲームを実施していただくことを推奨しています。施設退所後の生活の中で起こると思われる事柄を多種類のマネークリップカードとして用意し、マネークリップゲームを進める中で、自分が遭遇しそうな事にゲームとして触れることができるようにしています。毎日の生活の中で必要なお金と欲しいものを購入するためのお金、自分の想定外にお金が必要になる場面など、座学ではなくゲームとして楽しみながら体験でき、さらにカードで視覚的にも確認がしやすく、ゲームに参加した職員からは説明や注意喚起の機会ができるのとの話を伺っています。レクチャー紹介動画の活用を含め、マネークリップレクチャーの紹介、支援を丁寧に行って参ります。物質面での支援、心理的サポート、お金の管理を含む社会的スキルを身に着的ための機会提供など、施設措置された子ども、子どもを養育している施設にとっても、当財団の支援はそのニーズに応えるものにご支持をいただいています。

当財団は多くの方々からのご寄付によって運営、支援事業を行っています。私どもに託された支援を、社会的養護を必要とする子どもへの支援として効果的に届けて参りますので、皆様の引き続きのご支援をお願い申し上げます。

代表理事 木皿 昌司



公益財団法人

あいである

実家便

施設を退所し自活を始めた子どもに6月と12月の年2回、施設を退所した年から5年(10回)を最長支援期間として、施設からの申請を受け食品や生活用品を発送しています。

施設退所者と施設をつなぐ「実家便™」は、施設退所者にとっては施設や施設職員とつながっていることの安心感を得ること、施設にとっては子どもの居場所確認とともに、私たちはあなたを気にしていますというメッセージを「モノ」と「言葉」の両方で送る支援です。

施設退所者が、本当の意味で自立するまでには、時間を要します。唯一の拠り所である児童養護施設とのつながりを持ち続けることは、子どもが再び負の連鎖を生まないための一助となるセーフティネットであり、自立への見守り支援です。

新規支援者宛 令和7年6月送付



お米の購入費用を助成いただきました！



公益財団法人

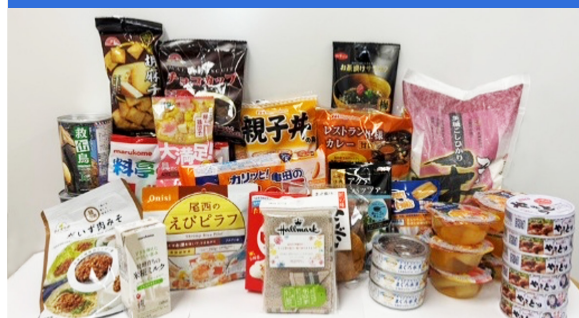
お金をまわそう基金

令和8年度も、実家便に同梱する「お米」の購入費用を「お金をまわそう基金」の寄付サイトに集めています！

右のQRコードからご寄付いただけます♪
(受付期間は令和9年3月末まで)



継続支援者宛 令和7年6月送付



継続支援者宛 令和7年12月送付



ふりかけの購入費用として
助成金をいただきました。



公益財団法人

東京コミュニティー財団

ゆずりは
基金とは

東京コミュニティー財団で管理・運営している冠基金。着姿でヴァイオリンの弾き語りをするスタイルのシンガーソングライターとして活動されながら、PocochaやTikTok LIVEでライバーとしても活躍され、タレント女優業に踏み出された月明かり様によって2023年に設立されました。毎年、社会貢献活動を行う日本国内で活動されている非営利活動法人およびNPO団体等へ、助成を行っています。

実績

令和5年度

新規支援人数 222
継続支援人数 509
対象施設 122

フードバンクからの商品提供はコロナ禍の影響もあり貧困家庭等への支援強化により他へ分散する傾向が強いが、協賛企業からの支援によって内容物の充実を図ることができた。一方で、物価高騰の影響を受け一部商品で購入価格の値上げ、宅配料金の値上げがあり、今後その影響は避けられないこととして注視している。昨年同様、自立支援プログラムのひとつとして活用しているとの報告が多く、継続的に新規支援申請が出されていることから支援事業として定着していると考えられる。

令和6年度

新規支援人数 216
継続支援人数 548
対象施設 127

「実家便」を利用した施設職員からの情報共有などによって新たな施設からの新規申請も出ており、引き続き支援の広がりがみられる。コメの在庫不足、価格高騰の影響を強く受け、コメの購入価格は2年前の2倍となったが商品は確保することができた。一方で、協賛会社から毎回提供を受けていたパックご飯は在庫不足から提供を受けることができず代替品の提供を受け同梱した。また、他の同梱物でも物価高騰の影響はあり、コメの価格高騰、在庫不足、輸送コストの高騰とともに今後もその影響は避けられないこととして注視している。

令和7年度

新規支援人数 230
継続支援人数 571
対象施設 129

コメの価格高騰に加え他の食品でも価格上昇があり、品数を揃えることはできたが費用を抑えるための内容物の調整に苦慮した。在庫不足により支援が中断されていたパックご飯について数量は少ないものの再開を受けることができたのは、当支援への信頼も寄与していることと考える。支援施設からは、実家便支援を受けている施設退所者の生活は物価高騰の影響を強く受け大変苦しい状況にあるとの報告とともに、実家便支援への感謝と支援事業の継続を望む声が寄せられている。今後も物価高騰は避けられず、支援事業の安定運営を前提に社会情勢の変化を注視していく必要がある。

あいであるの
マネークリップ

社会的養護施設の下で暮らす子どもは、お金の管理や心構え、契約手続きなど社会人として必要なスキルを学ぶ機会がほとんどないまま18歳で施設などから退所し、社会で自活を始めます。未熟なまま施設を退所せざるを得なかった要社会的養護児が金銭的トラブルに陥らないよう、社会適応力をつける機会として、お金の管理や、生活設計について学ぶレクチャーを開催しています。

カード形式のゲームで、取りくみやすい内容です。



社会的養護の下で暮らす子どもがお金の管理について学ぶためのレクチャーを行っています。

実績

令和5年度

新規4団体

レクチャーの意義や進行の仕方などを紹介する動画をレクチャー訪問の前に当該施設に配布し事前に見てもらうことを推奨し、レクチャーへの理解が深まるよう対応を取っている。マネークリップは、お金の管理を体験するツールであるとともに、座学ではないゲーム形式が子どもにも受け入れやすく、多様なレクチャーカードを用意したことで、社会生活の中で起こりうるトラブル例の説明や、社会生活で必要なコミュニケーションの仕方を学ぶツールにもなるとの評価を、レクチャー実施施設からの報告として受けている。

令和6年度

新規 8団体
継続 2団体

施設でのおこづかい管理ツール「おこづかいいれんしゅうレクチャー」の実施について、レクチャーで使用するツールを見てもらい施設職員へのヒアリングを行ったところ、レクチャーを受ける対象者によってニーズは異なるので、マネークリップ、おこづかいいれんしゅう両方のレクチャーツールと一緒に提供して欲しいとの要望を受けた。レクチャーの対象者を年齢で区切るのではなく、施設退所後の就労や住まい、施設退所に向けたアルバイト代からの貯金、施設措置の中でのおこづかいの管理など、対象者のニーズに合わせて、施設側でツールを使い分けたいとのことであり、施設訪問時におこづかいいれんしゅうレクチャーツールの配布を行った。

令和7年度

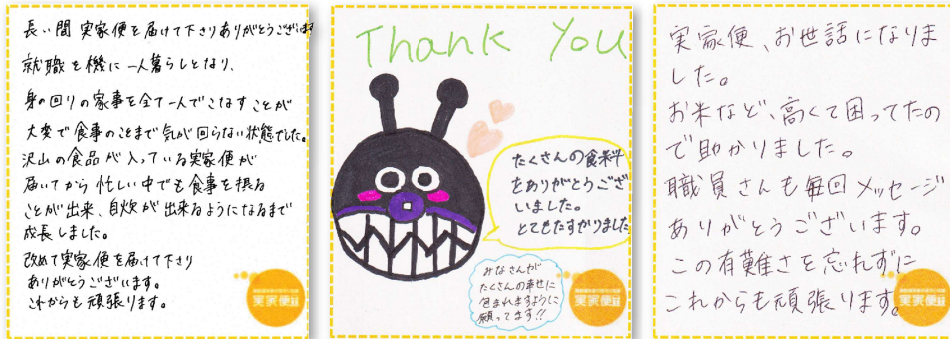
新規 3団体
継続 2団体

マネークリップは、お金の管理を体験するツールであるとともに、座学ではないゲーム形式が子どもにも受け入れやすく、多様なレクチャーカードを用意したことで、社会生活の中で起こりうるトラブル例の説明や、社会生活で必要なコミュニケーションの仕方を学ぶツールにもなるとの評価を、レクチャー実施施設からの報告として受けている。施設退所後の生活やお金にまつわる注意事項など、施設職員から子どもに伝えたいことは多くあるが、言葉では伝えきれないところを補完する役割も、マネークリップが持つことができている。また、施設職員自身への、お金の管理に関する意識付けにも一役買っている。施設を訪問してのレクチャーは地道な活動であるが、他の施設での事例の共有、施設での支援ニーズの把握にもつながることもあり、今後も同様の形式でレクチャーを行っていく。



実家便を受け取った『子どもの声』

実家便最終回を受け取った子どもから、施設の先生、支援者の方へ向けて。



実家便の支援実績

支援年度	H28年	H29年	H30年	H31年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
支援者数	235名	374名	456名	551名	585名	641名	691名	731名	764名	801名
新規支援者数	143名	166名	172名	207名	180名	200名	200名	222名	216名	230名
対象施設	62	85	96	113	122	115	119	122	127	129



活動の状況

全国の児童養護施設
610ヶ所のうち
**153ヶ所で支援の
実績**があります。

(R8年7月現在)



ご協力企業・団体 多くの企業・団体様のご協力をいただき活動しています。

株式会社 **アーテック** 株式会社アーテック



前田製菓株式会社



株式会社 白子



マルコメ株式会社



認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン



コストコホールセールジャパン株式会社



株式会社たらみ



株式会社石崎商店



株式会社パン・アキモト



株式会社ヒサゴサービス



ブルーミング中西株式会社



日本ハムマーケティング株式会社



まいにち株式会社



鍵林製菓株式会社

不二ライフ株式会社 不二ライフ株式会社

その他

(※ 順不同・敬称略)